

第56期 中間報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成21年9月30日

株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel 0120-094-777（通話料無料）

公 告 方 法 電子公告
ホームページ： <http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html>
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。
※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

単 元 株 式 数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

インターネットホームページ <http://www.soft99.co.jp>

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。



代表取締役社長兼会長
田中 明三

「新しいこと」へのチャレンジを続け、クルマと暮らしに輝きを提供します。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第2次中期経営計画「Spiral Up“NEXT”」も折り返し点をすぎ、当社は常に「新しいこと」へのチャレンジを通じ、お客さまへ付加価値の高い創造性のある製品・サービスの提供に向けて取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、昨年来の急激な市場環境の変化の影響は残るものの、グループ各社において前向きに営業活動に取り組んだ結果、前年同期と比較して減収とはなりましたが、費用の削減や経営の効率化を進めたことや、前期に計上した多額な特別損失がなくなったことで増益となりました。

自動車業界では、いわゆるエコカー減税等の政策や高速道路のETC割引による自動車利用の増加など、「クルマが動く」ことで当社グループの事業を取り巻く環境にも明るい変化が出てきております。

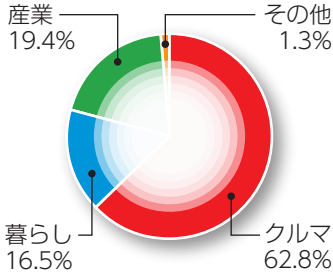
また、エコに対する意識の高まりを受け、「モノ」を大切にする傾向が見直され、いつまでも新車気分でいたいと自分の手で愛車のお手入れを行う風潮も現れており、自動車販売が伸び悩む中においても当社グループからお客さまへ新たな価値を提供する機会が増えてきております。

当社グループは今後も、「おもろい」を大切にした創造力をもって“新しいこと”へのチャレンジを続け、価値ある製品・サービスの提供を続けることで、企業価値の向上に努めていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成21年12月

売上高構成比



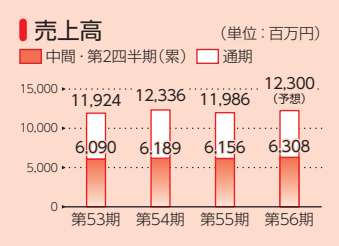
当第2四半期連結累計期間は、景気の後退局面からはやや回復の傾向が見られ、一部の企業収益にも底打ち感はあるものの、節約志向により個人消費は低迷するなど、景気の本格的な回復は依然として不透明な状況となりました。

このような中、当社グループは各事業の特色や技術を活かしながら新しいことへチャレンジし、お客さまに製品・サービスにおいて新しい付加価値を提供することを目指して営業活動に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,050百万円、営業利益708百万円、経常利益802百万円、四半期純利益は446百万円となりました。

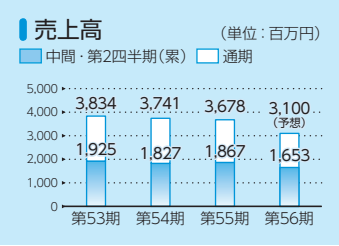
クルマ

- 個人消費が伸び悩む中、自動車販売落ち込みに歯止めはかかり、消費者向けカー用品、業務用商品、家庭用品とも販売が順調に推移。また、販売費や管理コストの削減に取り組み、製品販売事業は増収増益。
- 自動車関連サービスは、自動車販売の回復や高速道路のETC割引等による自動車利用増加の影響により入庫が順調に推移するも、新工場の償却負担増加により増収減益。
- 自動車教習事業は、職業免許等で入所者を伸ばすも普通免許の入所者獲得に苦戦し減収となる。一方で、経営の効率化を進めたことや、前期に行った固定資産の減損処理による償却負担の減少により増益。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるクルマ事業部門の売上高は6,308百万円、営業利益473百万円と増収増益。



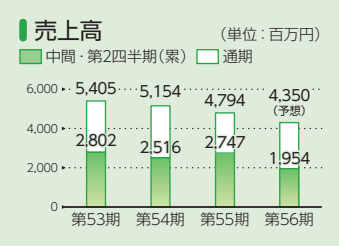
暮らし

- 温浴事業は、6月の不採算店舗売却などで減収となるも、費用の削減に努めたことや、前期に行った固定資産の減損処理による償却負担の減少により増益。
- 生協向けの家庭用品企画販売事業は、企画採用数が増加し増収となるも、企画当たりの売上減少による販売費用の効率悪化により減益。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間における暮らし事業部門の売上高は1,653百万円、営業利益は45百万円と減収増益。



産業

- 液晶パネル業界向けや半導体業界向けの需要については徐々に回復するも、前年同期並みには戻らず、また前半に工場の稼働率が低調であったことにより原価が高止まりし、後半の操業改善により好転したものの、減収減益。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間における産業事業部門の売上高は1,954百万円、営業利益は92百万円と減収減益。



四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 (21.9.30 現在)	前期末 (21.3.31 現在)
◆ 資 産 の 部 ◆		
流動資産	13,920	12,665
現金及び預金	7,447	6,728
受取手形及び売掛金	3,078	2,680
有価証券	880	567
たな卸資産	1,951	2,040
その他	563	649
固定資産	27,100	27,727
有形固定資産	21,336	21,700
建物及び構築物	5,371	4,926
土地	14,459	14,459
その他	1,505	2,313
無形固定資産	165	164
のれん	11	16
その他	153	147
投資その他の資産	5,599	5,862
投資有価証券	4,415	4,332
その他	1,183	1,529
資産合計	41,021	40,393

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当第2四半期末 (21.9.30 現在)	前期末 (21.3.31 現在)
◆ 負 債 の 部 ◆		
流動負債	2,516	2,440
支払手形及び買掛金	914	930
未払金及び未払費用	846	836
その他	755	673
固定負債	1,694	1,649
退職給付引当金	886	867
その他	807	781
負債合計	4,210	4,089
◆ 純資産の部 ◆		
株主資本	36,812	36,549
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	31,715	31,452
自己株式	△ 329	△ 329
評価・換算差額等	△ 198	△ 445
その他有価証券評価差額金	△ 30	△ 270
土地再評価差額金	△ 207	△ 207
為替換算調整勘定	39	32
少数株主持分	197	199
純資産合計	36,811	36,303
負債・純資産合計	41,021	40,393

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (21.4.1 から 21.9.30 まで)	前第2四半期(累計) (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前期 (20.4.1 から 21.3.31 まで)
売上高	10,050	10,901	20,720
売上原価	6,649	7,129	13,872
売上総利益	3,401	3,771	6,847
販売費及び一般管理費	2,692	2,968	5,718
営業利益	708	802	1,128
営業外収益	97	132	224
営業外費用	3	7	56
経常利益	802	927	1,296
特別利益	30	10	6
特別損失	26	544	3,591
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△純損失)	806	393	△ 2,288
法人税、住民税及び事業税	377	477	429
法人税等調整額	△ 20	△ 125	△ 307
少数株主利益(控除)	3	7	12
四半期(当期)純利益 (△純損失)	446	34	△ 2,423

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

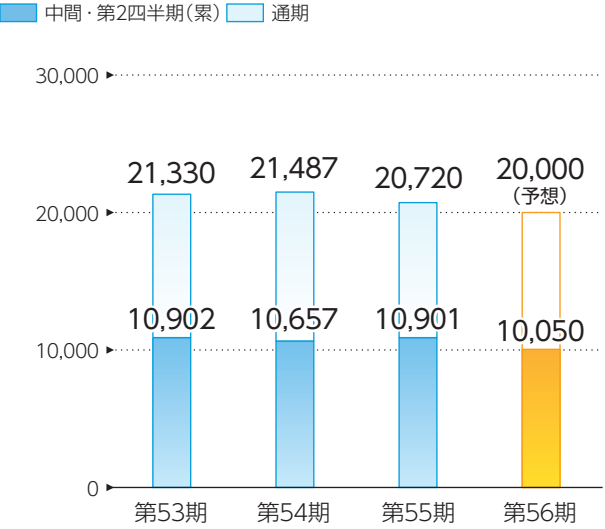
（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (21.4.1 から 21.9.30 まで)	前第2四半期(累計) (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前期 (20.4.1 から 21.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,063	990	1,811
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 156	△ 279	△ 1,275
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 189	△ 233	△ 499
現金及び現金同等 物に係る換算差額	3	△ 0	△ 9
現金及び現金同等 物の増加額	720	476	27
現金及び現金同等 物の期首残高	6,572	6,545	6,545
現金及び現金同等 物の四半期末（期 末）残高	7,292	7,021	6,572

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

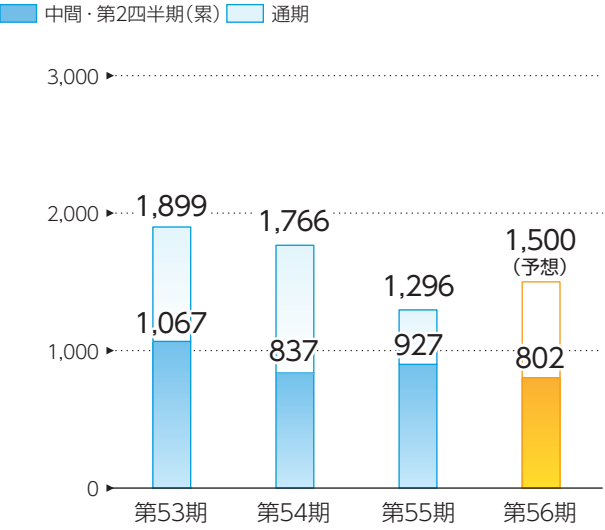
売上高

(単位：百万円)



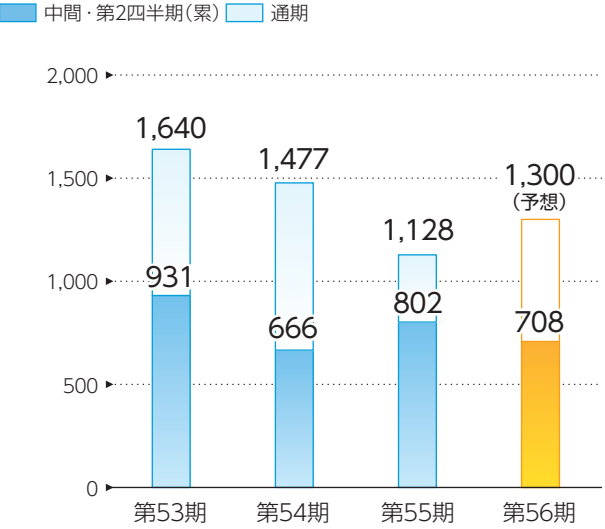
経常利益

(単位：百万円)



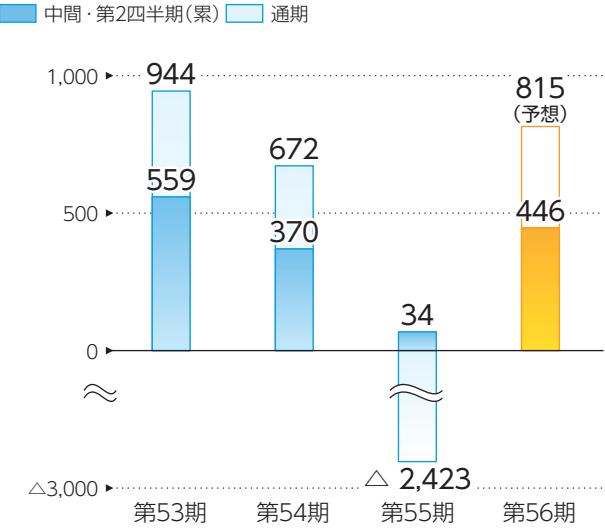
営業利益

(単位：百万円)



四半期(当期)純利益(△純損失)

(単位：百万円)



※54期以前は中間(当期)純利益です。

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

株式の総数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

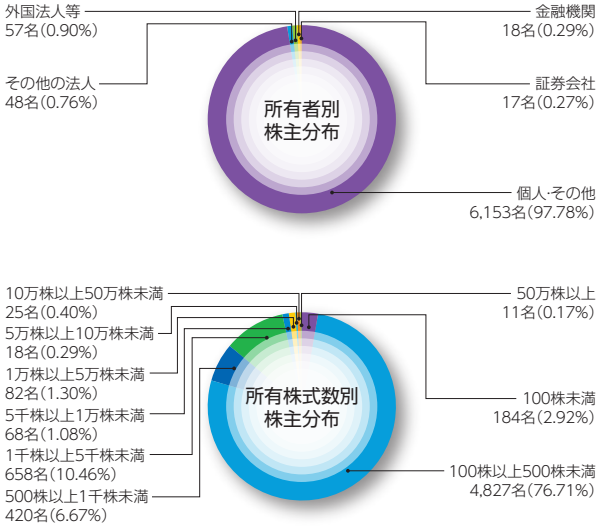
株主数

当第2四半期末株主数	6,293名
------------	--------

大株主

	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,354,528株	15.5%
田中 秀明	1,496,976	6.9
鈴木 幹子	1,492,656	6.9
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	948,400	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	899,200	4.1
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7
田中 明三	552,424	2.5
田中 斗葵恵	502,624	2.3

上記のほか自己株式が660,708株ございます。



会社の概要 (平成21年9月30日現在)

商 号	株式会社ソフト99コーポレーション
設 立	昭和29年10月28日
本 社	大阪府中央区谷町二丁目6番5号
資 本 金	2,310,056,000円
従 業 員 数	195名
事 業 内 容	自動車用化学製品の製造及び販売

役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役社長兼会長	田 中 明 三
専 務 取 締 役	土 堤 内 清 嗣
取 締 役	平 野 泰 彦
取 締 役	辻 平 春 幸
取 締 役	西 川 保
取 締 役	渡 辺 泰
取 締 役	奥 埜 佳 秀
取 締 役	田 中 秀 明
取 締 役	田 中 信
常 勤 監 査 役	赤 星 学
監 査 役	平 井 康 博
監 査 役	柏 岡 勲
監 査 役	岸 田 靖 雄